



国会論戦 山本太郎と奥能登の軌跡



北区議会議員 佐藤つかさ

1月1日 午後4時10分 能登半島地震が発生！

- マグニチュード7.6
- 震度7 志賀町、輪島市
- 震度6強 七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
- 死者341人（関連死112人）令和6年8月現在
- 負傷者 1,300人
- 全壊家屋 約8,500棟、 半壊家屋 約10,000棟
- 停電 4万4,000戸
- 断水 13万5,000戸
- 避難者 3万4千人（最大）

山本太郎 1月5日 現地入り



1月5日 国会では・・・



山本太郎に大バッシング！

勝手に被災地行って

しかも

炊き出しカレーも食べる...

れいわ山本太郎氏の被災地入りに「心から愕然」

維新議員が猛批判

「何やってんだよ、本当に」

音喜多俊

2024年1月9日 12時15分 J-CASTニュース



ある避難所では
700人に対する一食の食料配布が昨日はおにぎり一個だった。
今日、NPOがその避難所に食材を届けたら、
被災者から拍手が生まれ、
「お礼に炊き出しで作ったものをお裾分けする」と、
約束をしてくれたと言う。

被災者自ら料理をすることは気晴らしや
誰かに喜んでもらえるばかりでなく、
温かいものを口にできることは大きい。

避難生活が続けばお弁当も高カロリーの似た内容が続き、
高血圧や成人病などにもあまり良いとは言えない。
ただお世話をされる立場に被災者をおくと
再び立ち上がる力を奪ってしまう。

積極的に何かをやれる空気作りは、
その後の街の復旧にも大きく影響すると
これまで数十もの復興を手伝ってきたNPOの方はいう。



炊事環境がある避難所であれば、これが可能になるが、
その様な避難所は少ない。
そこで自衛隊のキッチンカーの出番だ。

自衛隊は自走式と牽引式キッチンカーを持っている。
その数、合わせて800を超える。
牽引式は約45分のうちに250人分、
自走式は約60分で150人分の炊事を行う素晴らしい能力を持っている。
2018年西日本豪雨の国会質疑からこの件をお願いし続けているが
未だ叶っておらず、今回は実現したい。

そんな話をしながら彼らの晩ごはんの炊き出しに誘われ
凍える寒さの中、カレーをいただく。

明日は当事者に直接話を聞き、
今、何が必要かをしっかりと勉強させてもらおうと意気込み、
車の中で眠ります。

【声明】石川県能登半島地震の復興にかかるといわ ビジョン（れいわ新選組 2024年1月17日）

▶ <https://reiwa-shinsengumi.com/comment/19639/>

【本物の国土強靱化のモデル・能登半島】

1. 復興までの広域避難について
2. 地域に残る人等のために仮設住宅を爆速で作る
3. ノウハウのある国・自治体の職員の長期派遣、支援組織への公費投入も行う
4. 「自治体マターだ」と通常の役割範囲を理由に復旧を放棄せず、
道路、電気、上下水道などインフラ復旧の全てを国が責任をもって行い、
ボトルネックを解消する。
5. 不要不急な事業(大阪万博、辺野古埋立工事)は中止し、
被災地に社会的リソースを回すとともに、復興を理由とした増税をおこなわない

【声明】石川県能登半島地震の復興にかかわるれいわビジョン（れいわ新選組 2024年1月17日）

6. 地域の経済・なりわい再生のため、コロナ禍以上の事業継続・債務免除・社会保障負担免除、雇用維持支援策を追加導入する。
7. 被災された方々や地域と関わり、復興やコミュニティ再生への伴走が物理的に長期間、可能になるよう、復旧・復興に取り組むNPO、ボランティアなどへの経費精算、有償化を進める。
8. 農林水産業や伝統文化への支援も国からの100%補助とする。
例えば、地震津波被害により新規造船が必要な方に対しても同等とする。
9. 本復旧・復興が軌道にのるまでの間、衆参における災害対策特別委員会を週一回の定例とし、総理大臣が必ず出席するものとする。

- 2024.1.24 : 予算委員会「災害救助法の生活必需品の支給。早急に50万円に引き上げ、」
- 2024.1.29 : 予算委員会「被災者生活再建支援法の見直し、全壊実費4/5を国庫負担、申請期間延長」
- 2024.2.16 : 災害対策特別委員会「災害救助法の生活必需品の支給、被災者生活再建支援を50万円に」
- 2024.3.5 : 予算委員会「予備費から2767億円、なぜ補正予算をやらなかったのか？」
- 2024.3.8 : 予算委員会「なりわい近接型仮設住宅の設置を速やかに行い、生産者を守ってほしい」
- 2024.3.13 : 予算委員会「住宅再建支援全壊300万円では足りない。追加で最大300万円の交付金を」
- 2024.3.18 : 予算委員会「奥能登の介護事業者は夏までに経営が厳しくなる。支援をしてほしい」
- 2024.3.22 : 環境委員会「浄化槽的機能をもった仮設トイレを集落に設置、公費解体の私物について」
- 2024.3.25 : 予算委員会「宅地内漏水を国主導で底上げしてほしい。職人さんたちに働く保証を」
- 2024.3.27 : 予算委員会「本予算、この予算が終了後、補正予算すぐに組んでいただきたい」
- 2024.4.23 : 環境委員会「携帯トイレが圧倒的に足りない、環境省リエゾン3人を増やしてほしい」
- 2024.4.24 : 予算委員会「珠洲市水道復率41%、宅地内漏水を解決するため職人の費用を」
- 2024.5.22 : 予算委員会「2600食が500食に減らされた。食数を継続して、市内に1日千円の金券を」
- 2024.6.4 : 環境委員会「珠洲市在宅避難者3千人、携帯トイレが足りない。解体作業員の宿泊所は」
- 2024.6.7 : 災害対策特別委員会「誓約書方式、職権滅失登記など公費解体に特化した措置法を」
- 2024.6.19 : 災害対策特別委員会「公費解体を国が負うというルール作り（立法案提出）」
2024. 8.30 : 生業近接型仮設住宅二一ズ調査に関する質問主意書

山本太郎の奥能登に関する国会質問16回（1/24～6/19）、奥能登視察を合計6回